

さわやか

発行 葉山町青少年指導員 連絡協議会
 事務局 葉山町教育委員会 生涯学習課 876-1111
 平成30年3月1日
 印刷 (株)アーテック

第35号



さわやか体験学習

9月24日(日) 保育園・教育総合センターにて



今年度の「さわやか体験学習」は、「モバイル作り」を行いました。町内の小学校3年生から6年生までの36名が参加しました。モバイルは、動く彫刻とも呼ばれます。いろいろな素材(紙やプラスチックや他のいろいろな物)を、糸や針金でバランスをとりながらつり下げて、インテリアや飾りとして楽しむことができます。

今回は、素材をつるすと絶妙にたわんでバランスが取りやすくなるピアノ線を利用しました。子どもたちは、持参してきた小物や、用意された画用紙やセロファンやビーズなどを使って作った小物に糸をつけてピアノ線につり下げていき、作品を作っていきます。青少年指導員が事前に試作したヒンメリ(ストロウに糸を通して作る多面体)を教わって作り、つり下げていたお友達もいました。また、クリスマスやハロウィンをイメージした小物をつり下げて作品を作ったお友達もいました。

学校や学年が違うお友達とおしゃべりしたり、協力したりしながら作品作りをするのは、普段の学校生活とはちよつと違った時間となったことでしょう。約1時間半で、いろいろなアイデアあふれるモバイルがたくさん出来上がりました。歓声のあふれる楽しい時間です。最後に、ゆらゆら揺れる自分の作品を持って、みんなで記念写真を撮りました。子どもたちが作品作りをする「さわやか体験学習」は、青少年指導員にとっても準備段階から楽しいイベントです。これからも、目新しいわくわくした企画でたくさん子どもたちに楽しんでもらいたいと思います。



里山管理体験

竹の子掘り



4月22日(土) 湘南国際村緑地

4月22日(土)、葉山町主催の里山管理体験(竹の子掘り)に協力しました。朝8時半、役場の車に乗り合わせて湘南国際村緑地へ。沢山とるぞ」と意気込んで参加したのは小学4年生〜6年生93人。山梨町長も参加して、里山で竹の子を掘ることも環境保全の一環です。竹の子を掘り、葉山町の里山に親しんでください。里山の保全には人の手入れが必要ですよ」と伝えました。



軍手をはめて道具を持ち、青々と緑色の里山へ入って行きます。傾斜地を上り下りして、土からほんの少し出ている穂先を見つけたら、周囲に深くクワを入れ竹の子を掘り起こします。その作業はかなり大変ですが、子どもたちはがんばって沢山の竹の子をとりました。竹の子の外側の硬い皮は竹林に戻し家庭ゴミの減量化も学びます。収穫した竹の子を大事に抱えて嬉しそうに帰っていく子どもたちの笑顔が私たちへのご褒美です。



海山に育ち親しむ子どもたち

稚魚放流・潮干狩り体験

5月27日(土) 森戸海岸

GWが過ぎて気持ちのいい日が続く5月27日(土)、今年で5回目になる稚魚放流・潮干狩り体験の日がやってきました。森戸海岸と一色海岸を交互に会を重ねてきましたが、今年は森戸海岸での開催です。

今年度も葉山町漁業協同組合、葉山町商工会青年部、おうちえんTeaoyasan、葉山ジュニアリーダーズクラブ、青少年指導員協力のもと、葉山町の小学生1〜3年生206名、未就学児と保護者125組に参加していただきました。



この時期はさわやかな空気が降り注ぎ、海遊びが楽しい季節でもあります。当日は大潮で日中に干潮が来るのでびつくりするほど潮が引く為には普段は隠れてる海底が見えるようになったり新たな発見もあります。

GWが過ぎて気持ちのいい日が続く5月27日(土)、今年で5回目になる稚魚放流・潮干狩り体験の日がやってきました。森戸海岸と一色海岸を交互に会を重ねてきましたが、今年は森戸海岸での開催です。

山梨町長の挨拶、協力団体の挨拶、稚魚放流と潮干狩りの説明、写真撮影を経ていよいよスタート。稚魚放流は皆ハケツに入った稚魚を持ち、お手本に習って少人数ごとに膝下くらいの水深まで行ってからそれぞれの思いを込めて海に放ちます。潮干狩りは数グループが入り替わりながら順番に行います。ちよつと掘ればすぐに見つけれられるので夢中になる子ども多数、友達と競いあつていきます。ただ最初の1個がまたま見つからないと集中力が続かなかつたり難しいものです。協力団体の皆さんがアイデアを尽くしてサポートしていました。

子どもたちが生物に親しみながら自然とふれあい、それらを通して資源保護について学ぶ事を目的としているこの事業、参加者の皆さんが後にこの日の体験を思い出してもらえたら、自分でもつきましたアサリが美味しかった事、店頭に並んでいる魚は自分が放流した魚ではないのか?、干潟の感触、ダイナミックな潮の満ち引き、些細な感覚が今後の糧になる事を想像しながらお手伝いさせて頂きました。

閉会式ではあさりの生簀、食べ方の説明を聞き、協力団体の皆さんの協力のもと無事に怪我もなく有意義な時間を過ごせた事と思います。

ジュニアアキキャンプ

国立中央青少年交流の家(御殿場) 8月24日(木)〜25日(金)



毎年大人気のジュニアキャンプ。今年も富士山の麓にある国立中央青少年交流の家にて行われました。例年5、6年生対象でしたが、近年申込者が増えて昨年同様に小学6年生59人が参加しました。

朝は緊張の面もちでバスに乗り込みますが、すぐにジュニアリーダーによるレクリエーションで、バスの中も楽しい雰囲気になりました。

到着後は、班に分かれてオリエンテーリングをしました。東京ドームの約4倍の敷地内の各所にある問題を解きながら、制限時間内に戻るゲームです。炎天

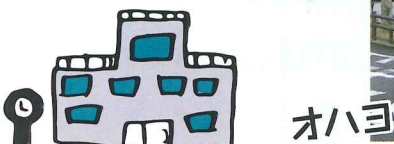
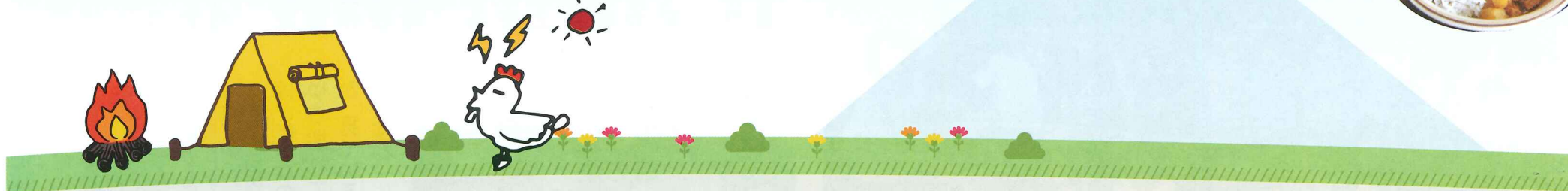


翌朝は起床ラップと共に起き、広場で全国から集まる団体との交流とラジオ体操をします。葉山町の子どもたちは時間に遅れることも無く元気な朝を迎えました。



下で、体力的にも相当きつかったと思いますが、子どもたちはジュニアリーダーと連携して、チームワーク良く積極的に問題を解きながら歩きました。みんな夕食を食べた後は、おまじかねのキャンドルファイヤーに、ジュニアリーダー扮する人気芸人そっくりさんが、ほの暗いキャンドルの灯りに照らされ登場すると子どもたちも大喜び。ジェスチャーゲームや、輪になってダンスを大声で歌い踊って盛り上がりました。

美味いカレーライスが出来上がりました。晴天に恵まれ富士山もくっきり見えた2日間のキャンプ。全ての日程を無事終えて帰路につきましました。普段の学校生活とは異なる新しい仲間との宿泊体験。楽しいばかりではなく周りの人との交流の大切さ、集団の中で過ごすルールやマナーをしっかり学ぶ機会になったことと思います。



1月10日から26日まで町内各小中学校の校門前、または通学路であいさつ励行運動を実施しました。登校する子どもたちは「おはようございます!」と元気よく挨拶してくれました。

あいさつ運動

子ども会のつどい



11月18日(土)に葉山町子ども会育成連絡協議会主催のソフトドッチボール大会が、上山口小学校体育館にて開催されました。ジュニアリーダー達の手伝いの下、未就学児童や試合中ではない子ども達を対象に恒例になった「輪投げ」を実施しました。最初は外で開催しましたが、途中から雨が降り出したため体育館の半分を使用して開催しました。今回は参加賞として「アメ玉」を用意したところ例年になく長蛇の列で大盛況でした。あまりにも人が多かったので、終了時間までに終わるか心配になったほどです。次の日は筋肉痛になりましたが、子ども達の楽しそうな姿を見て元気をもらった一日でした。



青少年指導員表彰

11月12日(日)川崎市「高津市民館」に於いて開催された第50回神奈川県青少年指導員大会で上山口小学校ブロッコリーの及川友子さんが表彰されました。おめでとうございます。

【会議等】

・総会、定例会、広報委員会、研究会・研修会・大会等への出席

【その他協力】

・HAYAMA EKIDEN2018 (第33回葉山町民駅伝大会) 子ども会のつどい (ソフトドッチボール大会)

【ブロック活動】

・あいさつ励行運動、社会見学支援等小学校区ごとに実施

【町事業への協力】

・海山に育ち親しむ子どもたちジュニアキャンプ 平成30年葉山町成人式

平成29年度 活動報告

【主管事業】

・さわやか体験学習

【町事業への協力】

・海山に育ち親しむ子どもたちジュニアキャンプ 平成30年葉山町成人式

【ブロック活動】

・あいさつ励行運動、社会見学支援等小学校区ごとに実施

【その他協力】

・HAYAMA EKIDEN2018 (第33回葉山町民駅伝大会) 子ども会のつどい (ソフトドッチボール大会)

啓発活動



編集後記

青少年指導員一年目。葉山に住み、葉山の子どもたちにふれあえる喜びを感じています。もともと人と関わるのが好きで、そして子どもたちの笑顔が大好きです。一緒に活動しながらお互いが成長していけるよう、子どもたちを見守りながら楽しく充実した時間を共有できるように頑張りたいと思います。(伊藤)

昨年から青少年指導員として子ども達と過ごすなか、我が子より客観的に物事を見る事ができます。もめ事があっても何事にも理由がある、と気持ちにゆとりを持ってお話を聞くことができ、子ども達から色々教えてもらっています。また他の指導員の方など色々な方と知り合えるのも魅力のひとつで、人生の勉強もさせていたでているようで、有り難いです。まさに「なつて良かった、指導員」です。(下平)

青少年指導員になり、良い仲間にも恵まれ今年5月で、12年の任期を無事に終える事になりました。青少年指導員の活動を通して、葉山の子どもの笑顔に支えられ、元気をもらい、さまざまな経験ができた事に感謝いたします。(及川)

任期終了も近くなりました。振り返れば、子どもたちと一緒に私自身も新しいことに挑戦しながらの12年でした。其々の個性が輝いて見えました。他市の抱えるような問題の少ない葉山町での青少年指導員活動は楽しかったです。(諸岡)

あつと言つ間に、青少年指導員としての任務も最後の年を迎える事になりましたが、まだ竹の子掘りや潮干狩り等の体験学習が待っています。子供達にとつても楽しいらしく、翌年も参加してくれる子が大勢います。その年によって竹の子の育ちも違うのですが、子供達と多に盛り上がりながらお手伝いしたいと思います。(神原)

楽しい思い出がいっぱいあります。青指をして本当に良かったです。皆さんありがとうございました。(原田)